

2017年9月12日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

女子高校生と女性管理職とのペアで初の実施 体験型実技演習プログラム「Job Shadow」(ジョブシャドウ)

ジブラルタ生命保険株式会社(代表取締役社長兼CEO 山内一洋、東京都千代田区、以下 ジブラルタ生命)は、7月27日、未来を担う子どもたちを応援する社会貢献活動の一環として、公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本(代表 佐川秀雄執行役理事、東京都品川区、以下 ジュニア・アチーブメント)の提供する体験型実技演習プログラム「Job Shadow」(ジョブシャドウ)に協賛し、同プログラムを本社オフィスにて実施しました。

「Job Shadow」は、高校生が社員とペアになり「影(シャドウ)」として行動を共にする体験型実技演習プログラムです。「仕事内容の理解」ではなく、「仕事をしている人を見ることで、仕事の厳しさや考え方、責任感を肌身で体験する」ことを目的に実施され、参加する高校生の進路・職業の選択に役立つ機会を提供します。

今回は、次世代女性のキャリア意識の形成を支援することを目的として、女子高校生が女性管理職の仕事ぶりをシャドウすることとし、本社オフィスが入居するプルデンシャルタワー(東京都千代田区)と品川シーズンテラス(東京都港区)に、福島県立磐城高等学校と福島県立磐城桜が丘高等学校の女子高校生20名が訪れ、17部門の女性管理職20名とペアを組み、ミーティングや通常業務などに約2時間同行しました。その後実施された代表の女性管理職と女子高校生との意見交換会では、女子高校生から多くの質問が投げかけられ、活発な意見交換が行われました。

参加した女子高校生の感想

- ◇ 細かな違いのところについても話したり、インプットアウトプットすることの大切さ、周りを見て行動することがどれだけ社会に出てから大切なのかを学ぶことができ本当に楽しかったです。
- ◇ 男性の中に混ざって活発に意見交換している姿が目には焼きついていて、かっこよかったです。私もこうなりたいと思いました。
- ◇ 今日の体験を通して職の幅も格段に増え、働くことの楽しさを知ることができたので、勉強をがんばろうと良い刺激を受けることができました。今後さらに仕事について考え、調べてみようと思います。

女性管理職の感想

- ◇ 高校生が自分の将来について考えるためのきっかけになる良い取り組みだと思いました。また、受け入れる側も学生が職場にくることで新鮮な気持ちになれて良かったと思います。
- ◇ 高校生に見られることで、自身の仕事の意味、周囲とのコミュニケーション、等々、様々な視点で普段の仕事を見直すことができました。
- ◇ 部活を頑張っている事や勉強で苦労している話し等を聞いて何事も真摯に一生懸命取り組むことが大事である事をあらためて感じました。

ジブラルタ生命は、今後も子どもたちへの様々な学びの機会の提供を通じて、「未来を担う子どもたち」を応援してまいります。

【参考】ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開。1995年に日本本部を設立、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質(主体的に社会で自立できる力)を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト <http://www.ja-japan.org/index.html> をご参照ください。



(写真左) ミーティングで女性管理職を真剣に観察する女子高校生

(写真右) 「Job Shadow」実施後の意見交換会



(写真) 「Job Shadow」実施後の記念撮影